慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

| | |
|---|---|
| Title | 編集後記 |
| Sub Title | |
| Author | 法学研究編集委員会(Hōgaku kenkyū henshū iinkai) |
| Publisher | 慶應義塾大学法学研究会 |
| Publication year | 1972 |
| Jtitle | 法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology ). Vol.45, No.3 (1972. 3) ,p.439- 439 |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | 米山桂三教授退職記念論文集 |
| Genre | Article |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19720315-0439 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 編集後記

法学研究会においては停年をもつて義塾を去られる法学部専任教授に、雑誌「法学研究」の一号を記念論文集の形式をとつて捧げることを例としている。

米山桂三教授は本昭和四十七年三月をもつて職を退かれることになられる。同教授の学識については本誌に掲載した略歴、業績一覧からもご理解いただけるように、優れた業績を後進に伝えられ、学界においても令名の高いことは知られている。この企画に対して学部内外の門弟が競つてご賛同の上ご寄稿下さつたのも、米山教授の研究や指導が極めて広い範囲に及んでいることを証しするものである。

研究者にとつて、自己の研究業績の一端を公にすることによつて、研究者である先達の恩に報いることが最も当をえた方法である。そして多くの後進がそれを選んだことによつて、ささやかながら同教授へのお礼ともなつたことと思う。

米山教授の在職中は世情は平穏に終始していたのではなく、戦争に、紛争に、同教授の貴重な能力と時間が、雑事の処理に消費されてしまつたことも少くない。この雑事の処理も同教授が後進の研究や教育にふさわしい環境をつくるために払われた努力であり、教授に負担をかけながら後進は学燈を維持し、今ここに業績の一端を公けにして、そのご努力にも報いたいと考えたのである。

不幸にして、志を持ちながら、病気、留学、事故のためにこの企てに加りえなかつた方々も見られるが、米山教授の学恩に深謝する気持においては変ることのないことを加えて、重ねて謝意を表するものである。

昭和四十七年三月

法学研究編集委員会